

# 歴民だより

歴史民俗資料館

令和2年度 12月号 No.86

## 郷土の先人紹介

新たな茶の美の発見者

まきむらびょうぶとしさだ  
牧村兵部利貞



▲牧村兵部利貞像（妙心寺 雑華院蔵）

牧村兵部利貞は、当町に存在した牧村城（※1）の城主である牧村政倫まきむらまさともの養子となった武将であり、茶道の大成者せんりのきゅう、千利休りきゅうしちてつの高弟「利休七哲（※2）」の六番目に数えられる茶人でもありました。

武将としては、山内一豊やまうちかずとよや古田織部ふるたおりべなどと共に織田信長、豊臣秀吉に仕え、馬廻衆うまわりしゅう（※3）の頭かしらや船奉行ふなぶぎょう（※4）を勤めるなど二万石余りの大名として活躍しました。

それまで、茶会では、形の整った茶陶が使用されていましたが、牧村兵部利貞が、ゆがみ茶碗を用いてからは、「ゆがみ」「ひずみ」という新しい美意識が茶室に広がっていきました。

※1・・・現在の円長寺付近にあったと推定される。

※2・・・千利休の高弟7人を指す呼称。

※3・・・大将の馬の周囲に付き添う側近であり、護衛や伝令及び決戦兵力として活躍した。

※4・・・軍船、水路、水軍のことを扱った役職。

ハートピア安八  
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30  
お問合せ：0584-63-1515